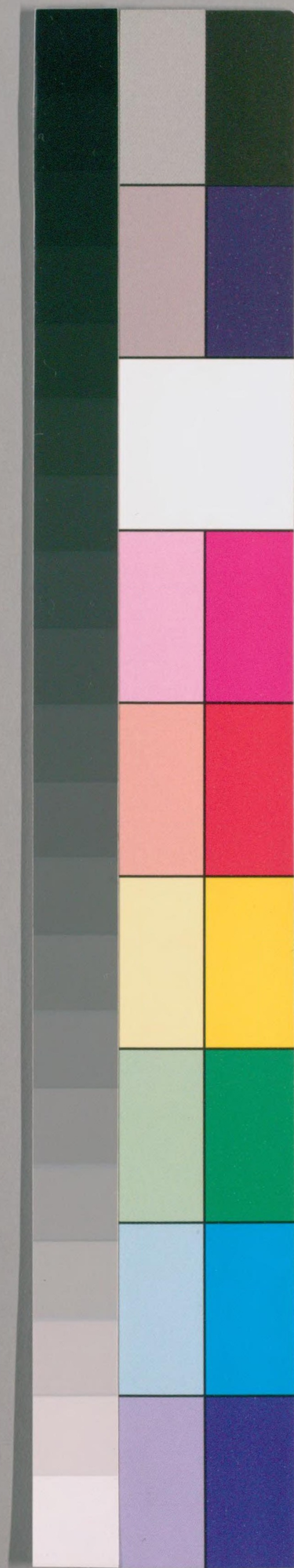


假名垣專文
花裘狐草紙
全

別12
14





花裘狐草紙

初編上巻

假名垣魯文作
一孟齋所書

石川の事

高田彦三郎
蘭学全集

錦橋堂

山田屋庄治郎版



一日錦橋堂の主人妻戀指荷へ詩の歸路
 余が野狐庵を訪れる。当地塵埃舞
 戀垢の狐と狸の會所とさけり。
 依るその詩を題と不計世
 中趣向を添ひぬ。其脚色ハ
 斯様々々と。講柄の注文音々
 怪々々々の。余程面白きもの。
 面黒狸と張舎の夜の意氣地の
 生田川。流れの水不影さうう。白面化狸の
 花の眉非情不有情の子草能を。
 探りつけたる定端の初編の草稿脱
 畢水が忽ち羞丹と化の蛇長紅裳の左尾追
 身続きの此高評を行末長く願ふらん



元文元年辛酉秋







一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、



一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、



一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、



曾文作



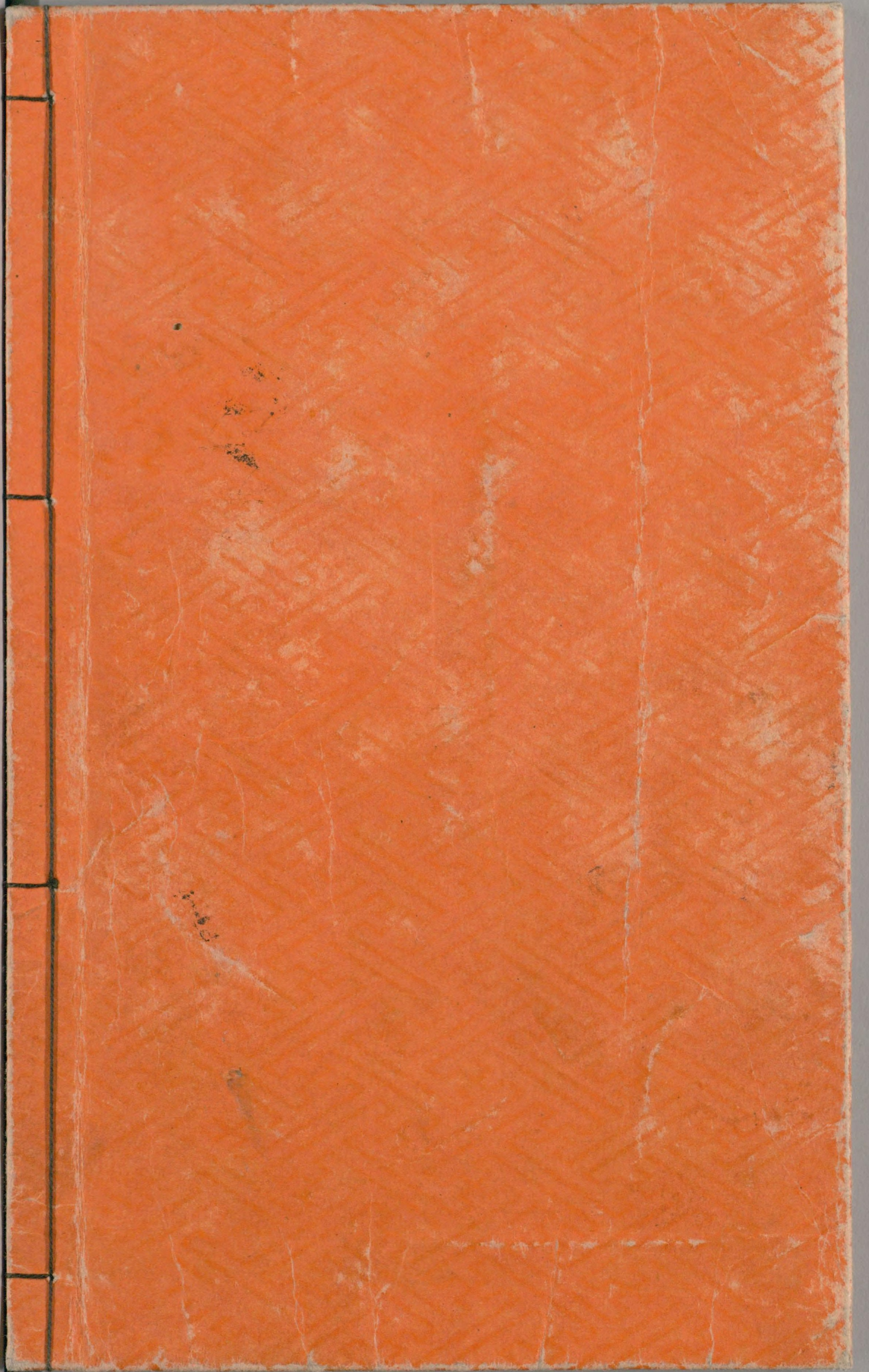
芳虎画

別12
14

幸商并之十二了發
五十四。並次挽稿
幸親苗兩福

15





国立国会図書館 タイトル『花裘狐草紙』 請求記号 本別12-14

ガラス使用